

JIS制改正中長期計画

№	JIS番号	制改正年	JIS規格名称	対応ISO	2021実績					備考		
					官報公示 E制定 R改正 C確認 W廃止	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度		2026 年度	
1	M 8202	2015	鉄鉱石—分析方法通則	なし	R2021.07							
2	M 8205	2000	鉄鉱石—蛍光X線分析方法	なし			★	◎●	○		定期見直し 確認予定 [ISO情報:ISO9516-2(単元素検査法)制定WG54 活動中。部編成規格として制定する。]	
3	M 8206	2014	鉄鉱石—ICP発光分光分析	ISO 11535:2006 MOD			○				確認予定	
4	M 8207	2013	鉄鉱石—ナトリウム定量方法 (原子吸光)	ISO 13313:2006 MOD					○		追補改正 ISO 13313:2017 を反映	
	M 8207	2020	鉄鉱石—ナトリウム定量方法 (追補1)									
5	M 8208	2013	鉄鉱石—カリウム定量方法 (原子吸光)	ISO 13312:2006 MOD					○		追補改正 ISO 13312:2017 を反映	
	M 8208	2020	鉄鉱石—カリウム定量方法 (追補1)									
6	M 8210	1995	鉄鉱石—コバルト定量方法 (吸光光度、原子吸光)	なし		◎	●				部編成規格として制定する。	
7	M 8211	1995	鉄鉱石—一化合物定量方法	ISO 7335:1987		★◎	●				改正 (M 8250と表現を一致させる。)	
8	M 8212	2005	鉄鉱石—全鉄定量方法	ISO 9507:1990 MOD (廃止) ⇒ ISO 2597-2:2015		●					改正 (対応国際規格の変更)	
9	M 8213	1995	鉄鉱石—酸可溶性鉄 (II) 定量方法	ISO 9035:1989			◎	●			適用範囲下限値拡大及び共存元素の影響調査の実験は中止。	
10	M 8214	1995	鉄鉱石—けい素定量方法 (重量、吸光光度)	ISO 2598-1:1992,ISO 2598-2:1992		★	◎	●			部編成制定予定	
11	M 8215-1	2006	鉄鉱石—マンガン定量方法—第1部: 原子吸光法	ISO 9682-1:1991 (2009改訂)							追補改正 (許容差)	
	M 8215-1	2022	鉄鉱石—マンガン定量方法—第1部: 原子吸光法 (追補1)			●						
	M 8215-2	2006	鉄鉱石—マンガン定量方法—第2部: 過よ素酸吸光光度法	ISO 3886:1986 (2006廃止)		○					確認	
12	M 8216	1994	鉄鉱石—りん定量方法—モリブドリン酸青吸光光度法	なし	R2021.05	★	◎	●			ISO4687-1:1982のJIS化	
13	M 8217-1	2020	鉄鉱石—硫黄定量方法—第1部: 鉄抽出分離硫黄バリウム重量法	ISO 4689:1986					○		部編成規格として制定した。	
	M 8217-2	2020	鉄鉱石—硫黄定量方法—第2部: 熱分解—よう素酸カリウム滴定法	ISO 4689-2:2017					○		部編成規格として制定した。	
	M 8217-3	2020	鉄鉱石—硫黄定量方法—第3部: 高周波誘導加熱—赤外線吸収法	ISO 4689-3:2017					○		部編成規格として制定した。	
14	M 8218	1997	鉄鉱石—銅定量方法 (吸光光度、原子吸光)	ISO 4693:1986 (2006廃止) ⇒ ISO 5418-2:2006 (吸光光度) ISO 5418-1:1994 IDT ⇒ 2006 (吸光光度)		○		★	◎		部編成規格として制定する。制定時、M8218は 廃止となる。	
15	M 8219-1	2012	鉄鉱石—チタン定量方法—第1部: 原子吸光法	ISO 8219:1995								
	M 8219-1	2022	鉄鉱石—チタン定量方法—第1部: 原子吸光法 (追補1)			●					追補改正 (許容差)	
	M 8219-2	2012	鉄鉱石—チタン定量方法—第2部: ジアンチピリルメタン吸光光度法	ISO 4691:2009								
16	M 8220	1995	鉄鉱石—アルミニウム定量方法 (滴定、原子吸光)	ISO 4688-1:1992 IDT (原子吸光) ISO 6830:1986 IDT (滴定法)			★◎	●			ISO 4688-1:2017の反映	
17	M 8221-1	2018	鉄鉱石—カルシウム定量方法—第1部: 共存元素分離しゅう酸カルシウム沈殿分離過マンガン酸カリウム滴定法	なし					○		確認	
	M 8221-2	2018	鉄鉱石—カルシウム定量方法—第2部: 共存元素分離エチレンジアミン四酢酸二水素ナトリウム滴定法	なし					○		確認	
	M 8221-3	2018	鉄鉱石—カルシウム定量方法—第3部: 原子吸光分析法	ISO 10203:2017 MOD					○		確認	
18	M 8222-1	2018	鉄鉱石—マグネシウム定量方法—第1部: 共存元素分離エチレンジアミン四酢酸二水素ナトリウム滴定法	なし					○		確認	
	M 8222-2	2018	鉄鉱石—マグネシウム定量方法—第2部: 原子吸光分析法	ISO 10204:2017 MOD					○		確認	
19	M 8223	1997	鉄鉱石—ニッケル定量方法 (吸光光度、原子吸光)	ISO 9685:1991 ISO 15633: 2015 (原子吸光) レフェリ—法ではない		○				★◎	部編成規格として制定する。制定時、M8223は 廃止となる。	
20	M 8224	1997	鉄鉱石—クロム定量方法 (吸光光度、原子吸光)	ISO 9685:1991 ISO 15634:2015 (原子吸光) 制定 ISO 9683:9683-1 (吸光光度)		○				★◎	部編成規格として制定する。制定時、M8224は 廃止となる。	
21	M 8225	1997	鉄鉱石—バナジウム定量方法 (吸光光度、原子吸光)	ISO 9684:9683-2 (原子吸光) :2009				★◎	●			
	M 8225	2013	鉄鉱石—バナジウム定量方法 (追補1)				○	★◎	●			
22	M 8226	2006	鉄鉱石—ひ素定量方法 (吸光光度、原子吸光)	ISO 7834:1987 IDT (吸光光度) ISO 17992:2013 (水素化物発生)								
	M 8226	2020	鉄鉱石—ひ素定量方法 (原子吸光) (追補1)	ISO 7834:1987 IDT (吸光光度) ISO 17992:2013 (水素化物発生)		●					追補改正 (許容差)	
23	M 8227	1997	鉄鉱石—すず定量方法 (吸光光度、原子吸光)	ISO/DIS 11534:1996 (原子吸光) ⇒2006改正		○				★◎	確認	
24	M 8228	1997	鉄鉱石—亜鉛定量方法 (滴定、原子吸光)	ISO 8753:1987 (廃止) IDT ISO 13310: 1997		○					確認	
25	M 8229	1997	鉄鉱石—鉛定量方法 (原子吸光)	ISO 8753:1987 (廃止) IDT ISO 13311: 1997		○				★◎	確認	
26	M 8230	1994	鉄鉱石—ビスマス定量方法 (吸光光度、原子吸光)	なし		★◎	●				部編成制定予定	
27	M 8250	2015	鉄鉱石—分析用試料の吸湿度定量法—重量法、カールフィッシャー測定法及び減量法	ISO 2596:2006 MOD								
	M 8250	2021	鉄鉱石—分析用試料の吸湿度定量法—重量法、カールフィッシャー測定法及び減量法 (追補1)	ISO 2596:2006 MOD	R2021.03	●					追補改正。カールフィッシャー電量測定法の追補改正	
28	M 8514	2003	鉄鋼用ほたる石—分析方法	ISO 4283:1993, 他7規格					○		確認予定 (蛍石は使用していない?)	
29	M 8700	2013	鉄鉱石及び還元鉄—用語	ISO 11536: 2015		○		★	◎	●	M3規格次第	
30	M 8702	2019	鉄鉱石—サンプリング及び試料調製方法	ISO 3082:2017				○	★	◎	鉄鋼業界法取込み、ロット大型化、落下強度試験追加 2016年4月改正も、ISO3082改正に伴い2019年再度改正	
	M 8704	2015	鉄鉱石—ロットの質量及び品質特性値の決定方法	なし		★	◎	●			鉄鋼業界法取込み 2015年5月制定	
31	M 8705	2021	鉄鉱石—ロットの水分決定方法	ISO 3087:2020	R2021.07					★	鉄鋼業界法取込み2015年5月改正も、ISO3087改正に伴い2021年7月改正	
32	M 8706	2022	鉄鉱石及び還元鉄—ふるい分けによる粒度分布の測定方法	ISO/4701:2019		●					鉄鋼業界法取込み 2015年5月改正も、ISO4701改正に伴い2022年再度改正	
33	M 8707	2004	鉄鉱石—品位変動評価試験方法	ISO 3084:1998			★	◎	●			
34	M 8708	2021	鉄鉱石—サンプリング、試料調製及び測定の方法を確立する実験方法	ISO 3085:2019	R2021.03					○	ISO 3085改正に伴い2021年3月改正	
35	M 8709	2006	鉄鉱石—サンプリングの偏りを調査する実験方法	ISO 3086:2005		◎	●					
36	M 8711	2011	鉄鉱石焼結鉱—落下強度試験方法	なし		◎	●					
37	M 8712	2022	鉄鉱石—回転強度試験方法	ISO 3271:1995		●						
	M 8712	2022	鉄鉱石—回転強度試験方法 (追補1)									
38	M 8713	2021	鉄鉱石—被還元性試験方法	ISO 7215:2015, ISO 4695:2015	R2021.07					○★		
39	M 8715	2009	鉄鉱石ペレット—膨れ試験方法	ISO 4698:1994		★	◎	●			ISO 4698改正に伴い(パウダー法採用)、改正	
40	M 8716	1990	鉄鉱石ペレット—見掛け密度及び気孔率の算出方法	なし			★	◎	●		体系見直し (例えばM8719への統合)	
41	M 8717	1993	鉄鉱石—密度試験方法	なし				★	◎	●	Etaノール法、気体置換法(He)の取込み改正	
42	M 8718	2022	鉄鉱石ペレット—圧かけ強度試験方法	ISO 4700:2015		●					次回改正時、鉄鋼業界法No.16取込み検討(解説)	
43	M 8719	1990	鉄鉱石ペレット—体積測定方法	なし			★	◎	●		体系見直し (例えばM8716への統合)	
44	M 8720	2009	鉄鉱石—低温還元粉化試験方法	ISO 4696-1,-2:2015		◎	●					
45			鉄鉱石—LOI(強熱減量)定量方法—吸湿度補正—重量法	ISO 11536: 2015							8月1日発行	
46			鉄鉱石—熱割れ試験方法	ISO 8371:2015			★			◎	ISO 8371改正後、JIS化検討	
47	M 8721	2020	鉄鉱石—比表面積測定方法	ISO 21283: 2018					○	◎	ISO新規制定後(Blaine法)のJIS化	
					○ 定期見直し							
					★ 検討中(又は検討開始)							
					◎ 三者委員会審議							
					● 制改正							
					三者委員会審議案件	6	(6)*	(6)*	(5)*	(5)*		*検討中